

この紙のゴール：動詞のうしろの並びで文型を見分け、SV00とSVOCを「が」を入れて読み分けられる

実力を伸ばすクラス 偏差値のめやす 50～60程度 高校範囲の6つの型を通します (確認は4択)

気づき AとB、どちらも S made me ____ という同じ並び。でも日本語にすると別物になる。何が決めている？ (30秒考えて、となりの人と答え合わせ)

A	She made me a cake.
B	She made me happy.

決め手は「私」と「そのあとの語」がイコールかどうかです。Aは私≠ケーキ→2つは別々のもので、動詞のうしろに「人」と「物」が並んでいます。Bは私=幸せ→うしろの語が「私」の状態を言っています。見分ける手順はひとつだけ、**あいだに「が」を入れて読む**。「私がケーキだ」(×) / 「私が幸せだ」(○)。読めたほうがSVOC、読めなければSV00です。

整理 この単元で扱う6つの型 (型を決めているのは動詞)

形	作り方	表すこと	例文
SV (第1文型)	S + V (+ 副詞句)	だれかが～する	The train arrived on time. 電車は時間どおりに着いた。
SVC (第2文型)	S + V + C (S=C)	Sは～だ／～になる	My father looks young. 父は若く見える。
SV0 (第3文型)	S + V + O (S≠O)	Sが～を…する	We discussed the plan. 私たちはその計画について話し合った。
SV00 (第4文型)	S + V + 人 + 物	人に物を～する	He gave me a ticket. 彼は私にチケットをくれた。
SVOC (第5文型)	S + V + O + C (O=C)	Oを～と呼ぶ／～にする	The news made us sad. その知らせは私たちを悲しませた。
SVOCの広がり	知覚・使役 + O + 原形 have + O + 過去分詞	Oが～するのを見る／させる Oを～してもらう	I saw him run. I had my bike repaired. 彼が走るのが見えた。／自転車を直してもらった。

手順はひとつだけ—動詞のうしろの2つのあいだに「が」を入れて読む。読めればSVOC (O が C する／O が C だ)、読めなければSV00。落とし穴も2つ: Cになれるのは名詞と形容詞だけ (副詞は入らない)、知覚動詞・使役動詞のうしろは原形 (to は入らない)。

確認 () 内から正しいものを選ぼう。 知識・技能

- (1) She gave (me a hand / a hand me / to me a hand / me to a hand) with my bags.
- (2) Everyone calls (Taku him / him Taku / him to Taku / to him Taku) .
- (3) I saw him (to cross / crosses / cross / has crossed) the road.
- (4) My mother let me (to stay / stayed / staying / stay) out until nine.
- (5) I got my brother (help / helped / to help / helping) me with the boxes.

確認の解答

(1)	me a hand	SV00は人が先、物があると。to を先に置きたいときは give a hand to me の順になる。
(2)	him Taku	「彼がタクだ」と読めるのでSV0C。call / name はこの型を作る。
(3)	cross	知覚動詞のうしろは原形。「彼が渡る」と読めるのでSV0Cの仲間。
(4)	stay	使役動詞 make / let / have のうしろも原形。
(5)	to help	get だけは to が要ります。have は原形、get は to 不定詞。入試で狙われる。

つまずき① Cに副詞を置いてしまう

Cになれるのは名詞と形容詞だけです。日本語の「～そうに見えた」に引かれて -ly を付けると文型ごと壊れます。「S=C」で読み直せば、Cが主語の様子を言う語だと分かります。

× She looked very happily at the news. → ○ She looked very happy at the news.
「彼女＝幸せ」なのでCは形容詞 happy。happily は動詞の様子を言う語で、Cにはなれない。

つまずき② SV00とSV0Cを「うしろが2つ」でひとまとめにする

見分けはあいだに「が」を入れて読めるかだけ。読めればSV0C、読めなければSV00（人と物）。同じ動詞が両方の型を作ります—I found him a job.（「彼が仕事だ」は読めない→SV00）と I found him honest.（「彼が正直だ」は読める→SV0C）。

× This song makes me happiness. → ○ This song makes me happy.
「私＝幸せ」なのでCは形容詞。名詞 happiness を置くと「私に幸せを作ってあげる」というSV00の読みになる。

つまずき③ 知覚動詞・使役動詞のうしろに to を入れる

see / hear / feel / watch と make / let / have のうしろは原形。ただし get だけは to が要ります。「～してもらう」で覚えると get と have が混ざるので、語ごとに覚えるのが速い。

× The teacher made us to write a report. → ○ The teacher made us write a report.
使役の make のうしろは原形。to が要るのは get のときだけ。

つまずき④ 主語が長いと動詞を見失う

主語は1語とはかぎりません。前置詞句や関係詞がつけば10語を超えます。まず動詞をさがし、その手前までを主語として閉じる—判定はそれから。閉じたあとに it を置くと主語が二重になります。

× The new shop near the station it is always crowded. → ○ The new shop near the station is always crowded.
主語は The new shop near the station まで。閉じたあとに it は要らない。

授業のひとつ 導入はケーキと happy の2文だけで十分です。そのあと1分、教科書の本文から動詞を3つ選んで型を書き込ませてください—うしろに何がいくつ並んでいるかを数えるだけで、5文型は「覚えるもの」から「見えるもの」に変わります。